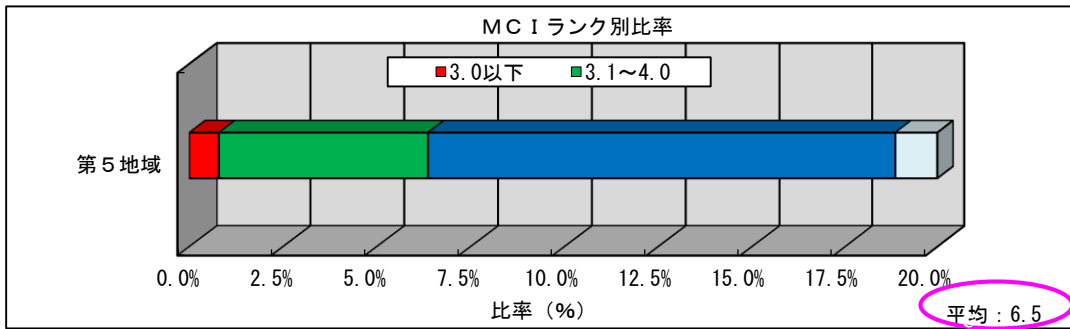


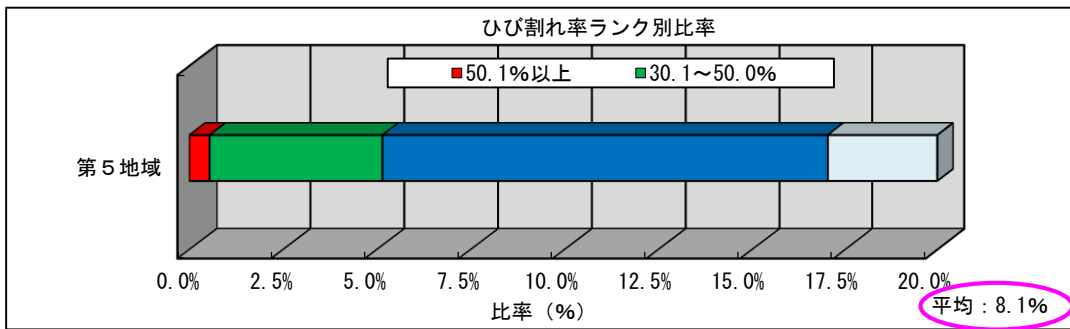
(1) 第5地域

「第5地域」は、8地域の中でひびわれ率の平均値が最も高く、わだち掘れ量はやや高い状態です。なお、MC Iは府中市8地域の中で最も低い(悪い)水準です。

MC I	3.0以下	3.1~4.0	4.1~5.0	5.1以上	合計
第5地域	0.8% (259m)	5.6% (1,829m)	12.5% (4,100m)	81.1% (26,620m)	100% (32,808m)



ひびわれ率	50.1%以上	30.1~50.0%	15.1~30.0%	15.0%以下	合計
第5地域	0.5% (179m)	4.6% (1,510m)	11.9% (3,897m)	83.0% (27,222m)	100% (32,080m)



わだち掘れ量	40.1mm以上	30.1~40.0mm	25.1~30.0mm	25.0mm以下	合計
第5地域	0.0% (0m)	0.0% (0m)	0.0% (0m)	100.0% (12,578m)	100% (12,578m)

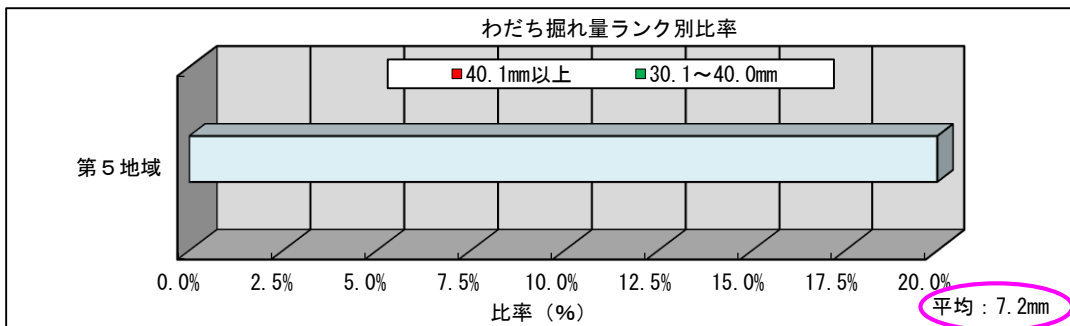
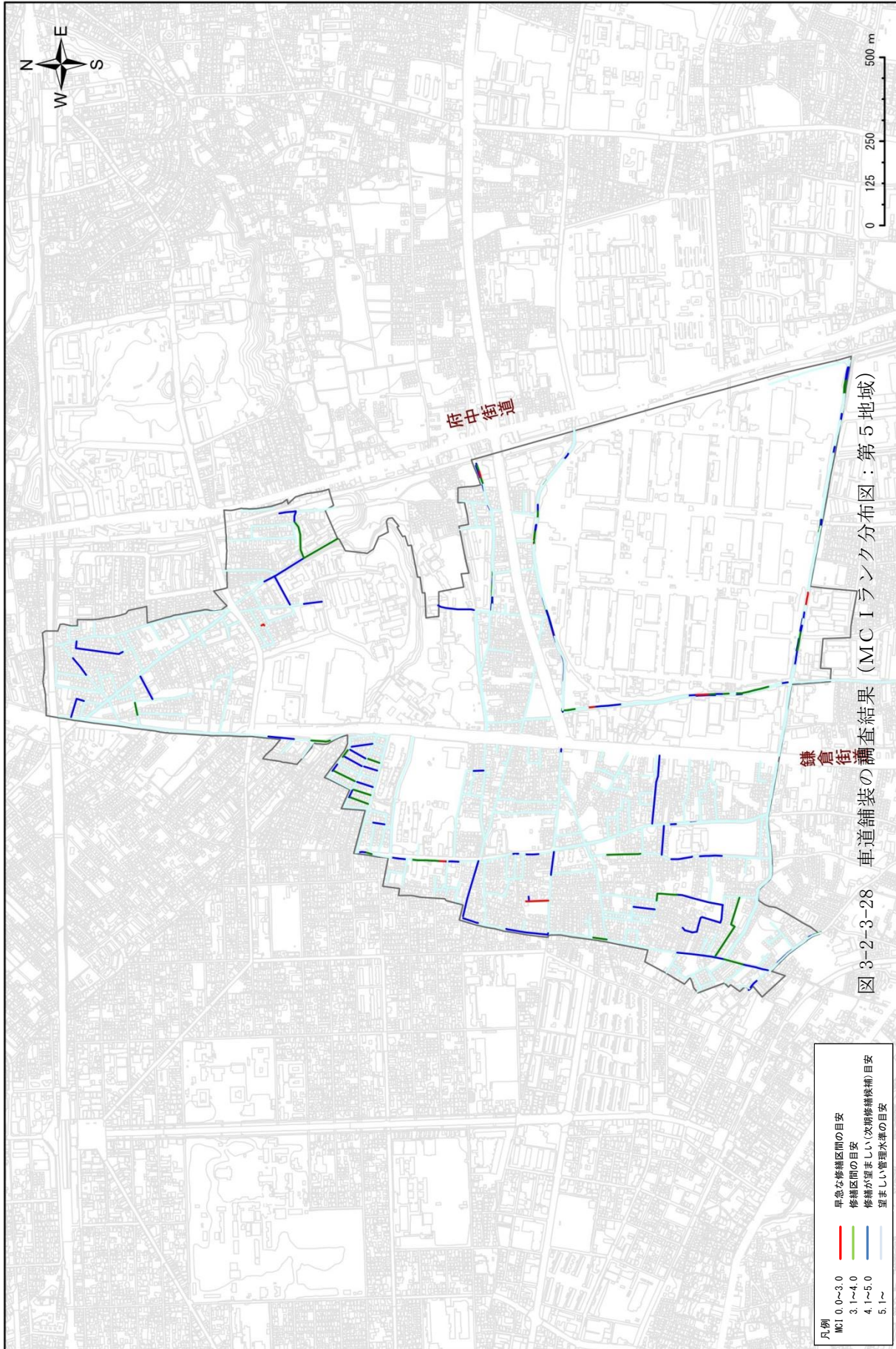


図 3-2-3-27 地域別・MC I・路面性状2要素ランク別割合比較（第5地域）



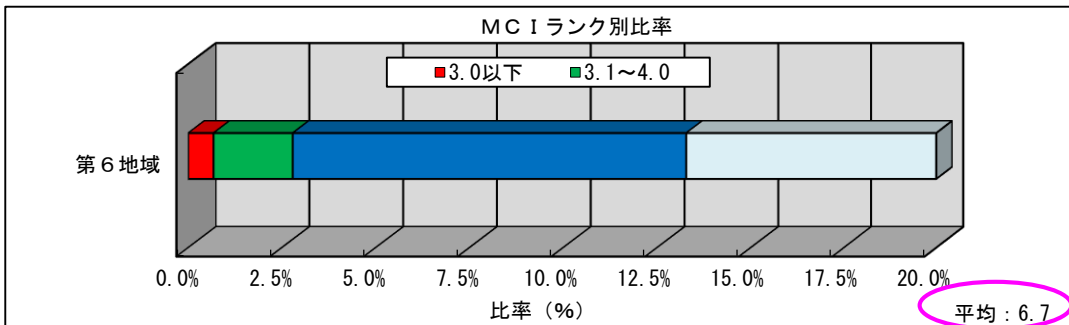
3-2-2

インフラの整備状況（車道舗装）

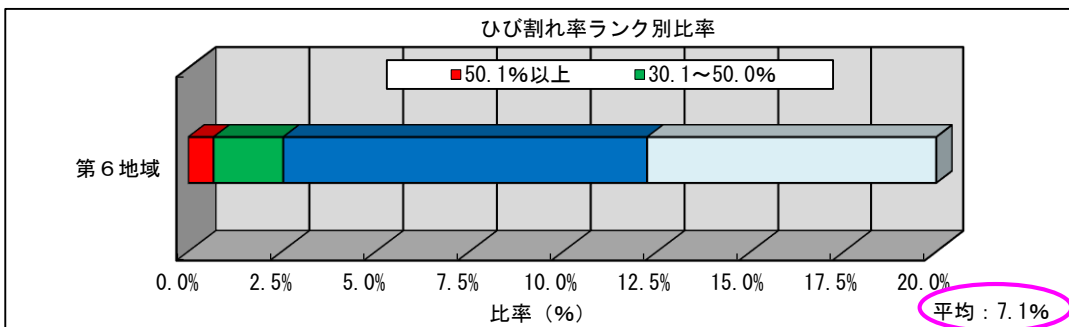
(2) 第6地域

「第6地域」は、8地域の中でひびわれ率の平均と同水準であり、わだち掘れ量は最も低い状態です。なお、MC Iは府中市全体の平均と同水準です。

MC I	3.0以下	3.1~4.0	4.1~5.0	5.1以上	合計
第6地域	0.7% (319m)	2.1% (995m)	10.5% (4,943m)	86.7% (40,871m)	100% (47,128m)



ひびわれ率	50.1%以上	30.1~50.0%	15.1~30.0%	15.0%以下	合計
第6地域	0.7% (319m)	1.9% (875m)	9.7% (4,572m)	87.8% (41,362m)	100% (47,128m)



わだち掘れ量	40.1mm以上	30.1~40.0mm	25.1~30.0mm	25.0mm以下	合計
第6地域	0.0% (0m)	0.0% (0m)	0.1% (20m)	99.9% (13,507m)	100% (13,527m)

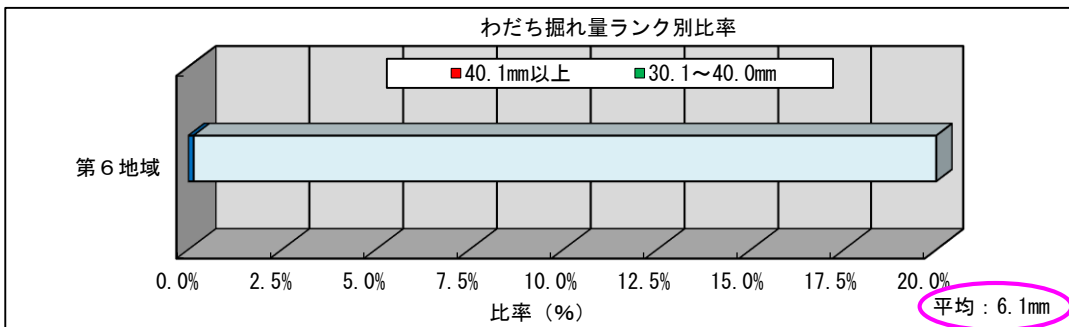
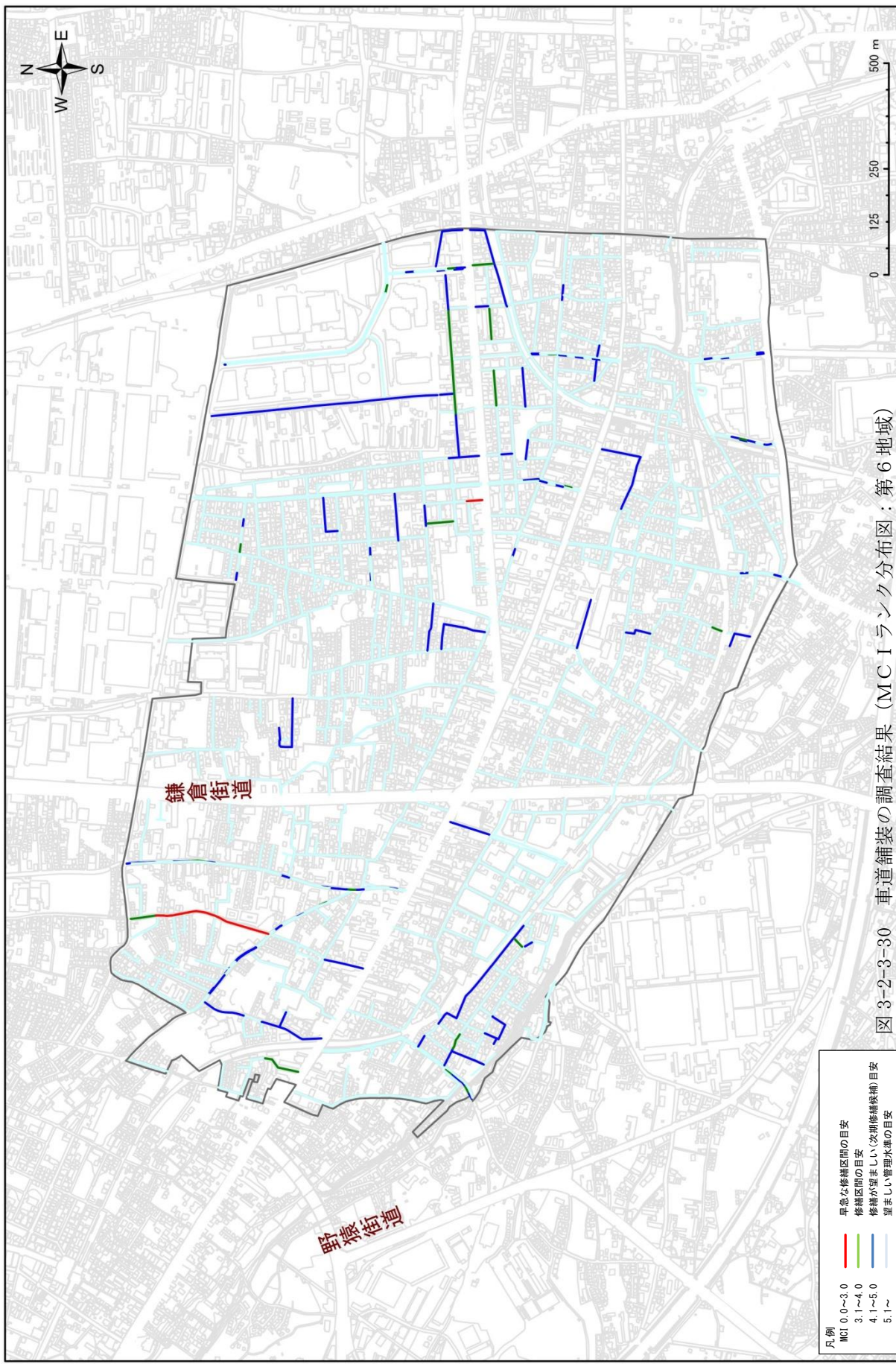


図 3-2-3-29 地域別・MC I・路面性状 2 要素ランク別割合比較 (第6地域)

3-2-2

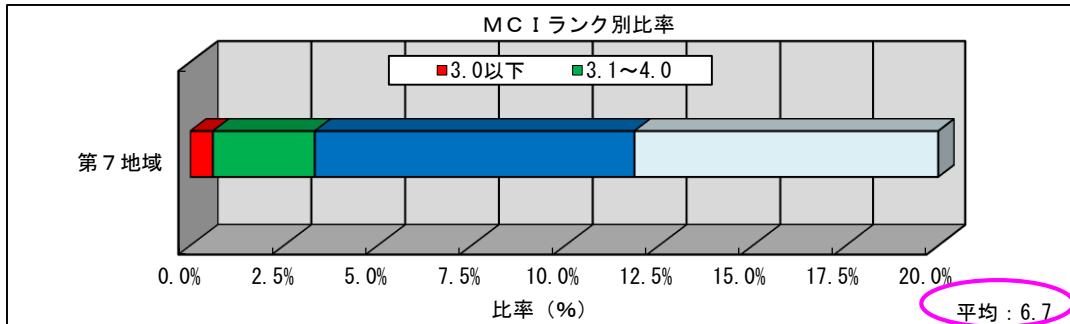
インフラの整備状況（車道舗装）



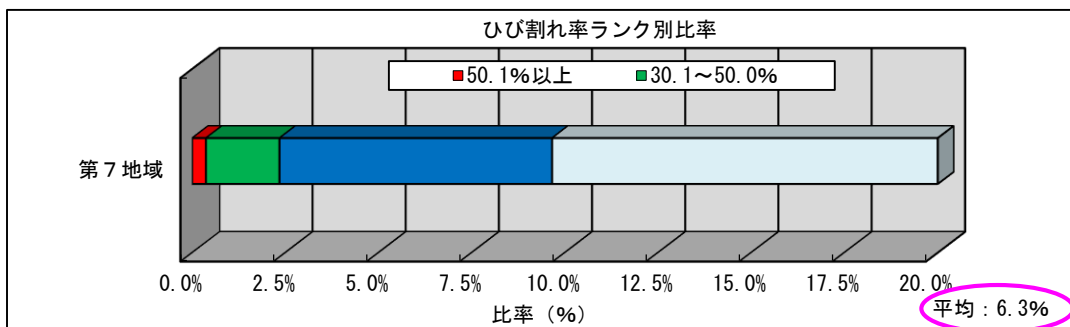
(3) 第7地域

「第7地域」は、8地域の中でひびわれ率の平均値が最も低く、わだち掘れ量は最も高い状態です。なお、MC Iは府中市全体の平均と同水準です。

MC I	3.0以下	3.1~4.0	4.1~5.0	5.1以上	合計
第7地域	0.6% (414m)	2.7% (1,852m)	8.5% (5,816m)	88.2% (60,151m)	100% (68,233m)



ひびわれ率	50.1%以上	30.1~50.0%	15.1~30.0%	15.0%以下	合計
第7地域	0.4% (254m)	2.0% (1,346m)	7.3% (4,992m)	90.3% (61,641m)	100% (68,233m)



わだち掘れ量	40.1mm以上	30.1~40.0mm	25.1~30.0mm	25.0mm以下	合計
第7地域	0.0% (0m)	0.3% (89m)	0.5% (140m)	99.1% (25,607m)	100% (25,836m)

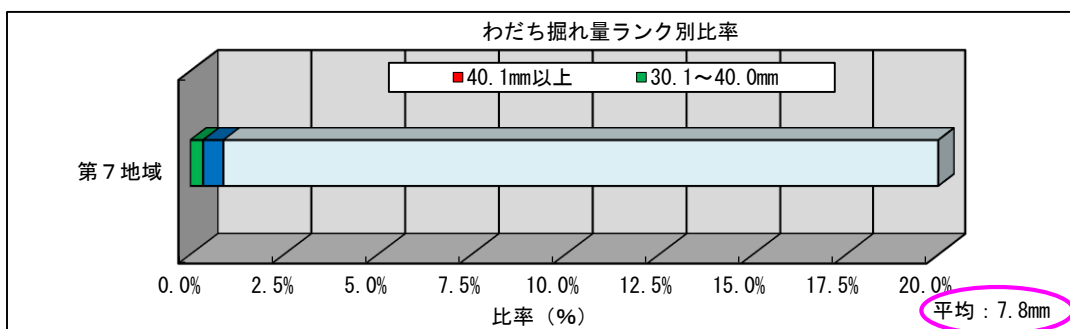
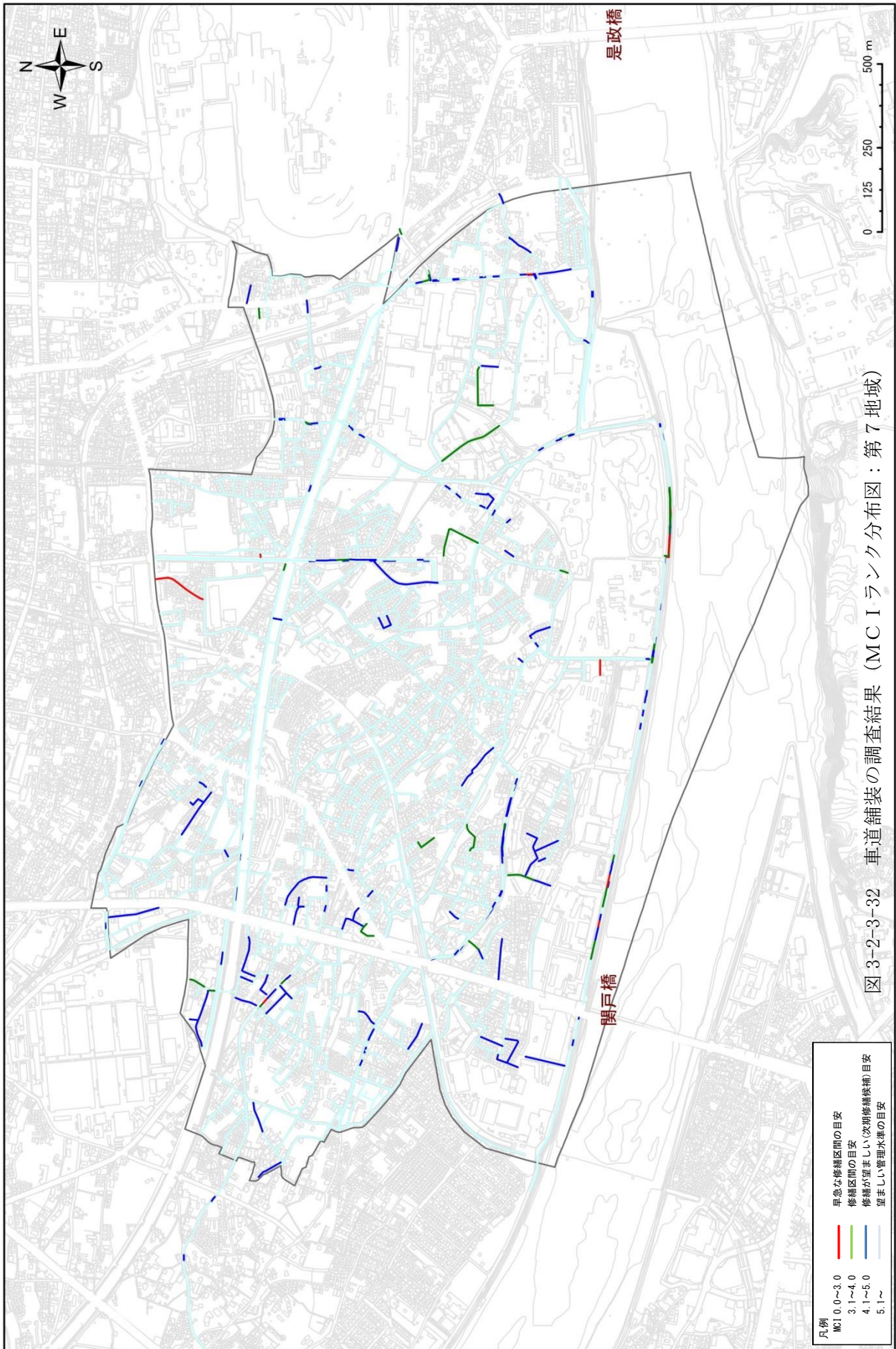


図 3-2-3-31 地域別・MC I・路面性状 2 要素ランク別割合比較 (第7地域)

3-2-2

インフラの整備状況 (車道舗装)



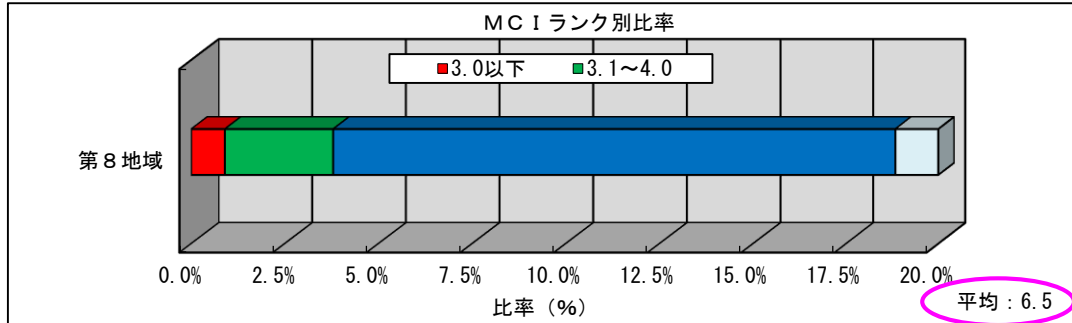
3-2-2

インフラの整備状況 (車道舗装)

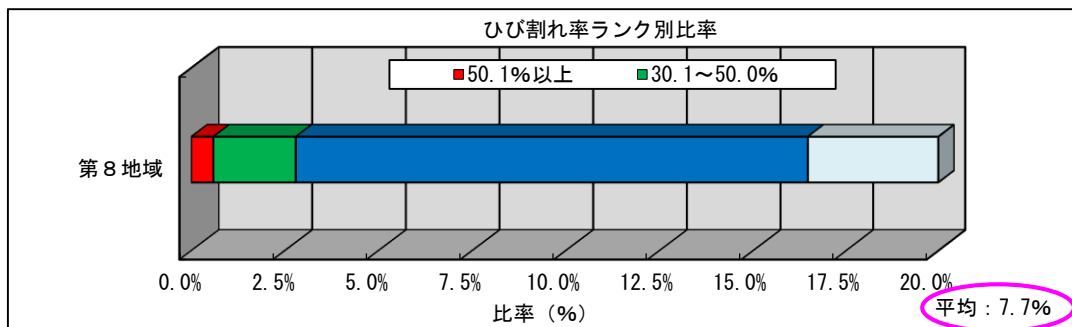
(4) 第8地域

「第8地域」は、8地域の中でひびわれ率の平均値がやや高く、わだち掘れ量もやや高い状態です。なお、MC Iは府中市8地域の中で最も低い(悪い)水準です。

MC I	3.0以下	3.1~4.0	4.1~5.0	5.1以上	合計
第8地域	0.9% (528m)	2.9% (1,695m)	15.0% (8,825m)	81.2% (47,608m)	100% (58,656m)



ひびわれ率	50.1%以上	30.1~50.0%	15.1~30.0%	15.0%以下	合計
第8地域	0.6% (348m)	2.2% (1,290m)	13.7% (8,017m)	83.5% (49,001m)	100% (58,656m)



わだち掘れ量	40.1mm以上	30.1~40.0mm	25.1~30.0mm	25.0mm以下	合計
第8地域	0.0% (0m)	0.2% (60m)	0.5% (120m)	99.3% (24,156m)	100% (24,336m)

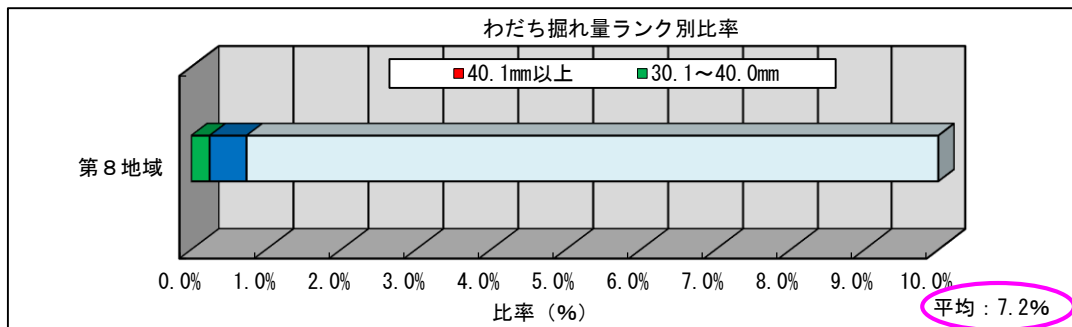
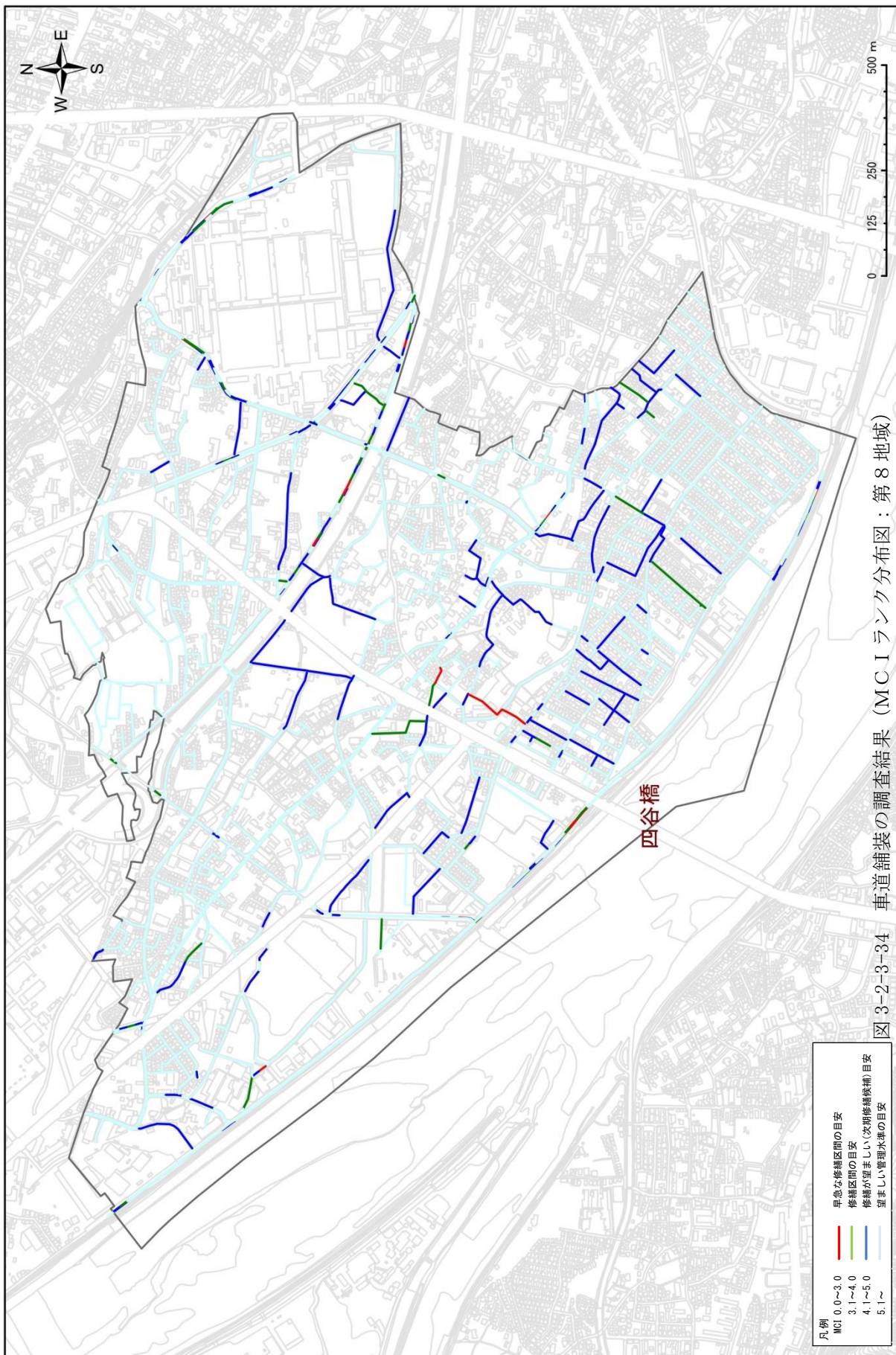


図 3-2-3-33 地域別・MC I・路面性状2要素ランク別割合比較 (第8地域)

3-2-2

インフラの整備状況 (車道舗装)



3-2-2

インフラの整備状況(車道舗装)

3.2.4. 歩道・植樹ます

歩道・植樹ますは、現地調査により現状を段階評価しました。

3.2.4.1. 全体数量

歩道、植樹ますは、交差点で区切られる街区を単位とする区間を調査しました。

表 3-2-4-1 歩道・植樹ますの調査数量一覧

調査方法	調査延長 (m)	調査面積 (㎡)	調査項目	評価 単位 (区間)	備 考
目視	173,502	489,158	舗 装：ひびわれ、段差、 ポットホール ^(※2) 、種別 植樹樹：根上がり、本数、グレー チング ^(※3) 有無・種別	交差点 街 区	平均歩道幅員 ^(※1) 幹線道路 3.03m 一般市道 2.46m
合 計		489,158		1,923	

※1 平均幅員は、「市の道路管理に関する調書：平成 28 年 3 月 31 日現在」から算出しました。

※2 舗装表面の局所的な小穴をいい、ひびわれに起因する剥離等が原因となって生じます。

※3 道路の表面排水を目的として側溝におく蓋（縁石）のことで、歩道や植樹樹にも使われます。

3.2.4.2. 歩道・植樹ます位置

次頁の図に、歩道・植樹ますがある道路位置を示します。

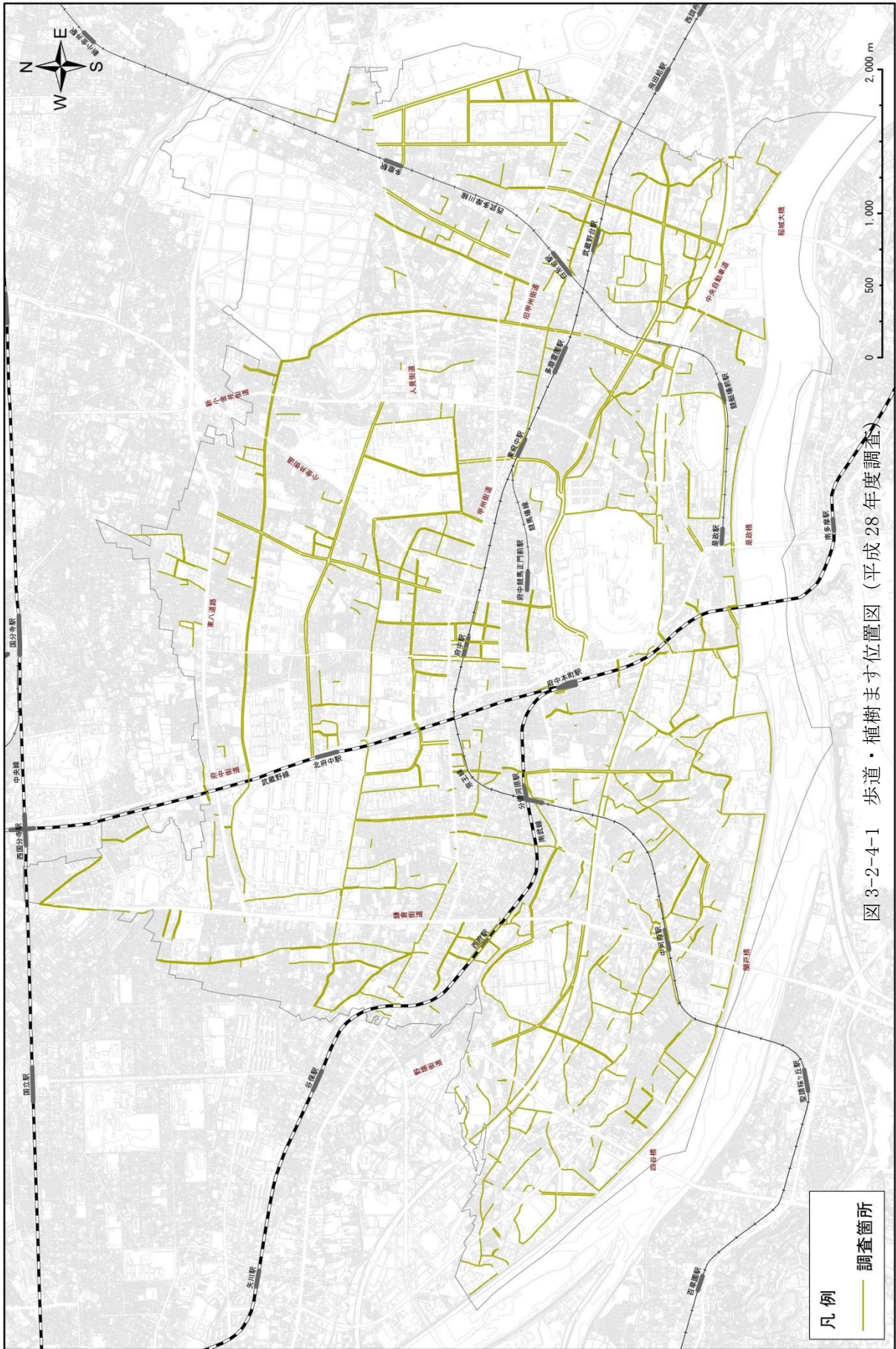


図 3-2-4-1 歩道・植樹ます位置図（平成 28 年度調査）

3-2-3

インフラの整備状況（歩道・植樹ます）

3.2.4.3. 歩道・植樹ますの整備状況

(1) 調査項目及び解析手法

① 調査項目

歩道調査における調査項目は、段差によるつまずきの可能性を判断することを目的とし、次のとおりとしました。

- ア. 舗装状況（ひびわれ、段差、ポットホール）
- イ. 植樹状況（根上がり、本数）

また、歩道状況の基礎情報として、舗装種別、植樹柵の種別（グレーチングの有無、素材）について確認を行いました。

② 調査項目の対象判定

調査では、次の基準で判定と記録をしました。

- ア. 歩道舗装：切り下げ部のコンクリート舗装は調査しない。
歩行するための支障程度を判定する。
道路台帳と現地に相違がある場合は、簡易に記録する。
- イ. 植樹ます：「高木」、「中木」の本数や樹種は調査しない。
「低木」、「花株」は調査しない。
「切り株」がある場合は記録する。

③ 調査箇所の設定

道路台帳附図により、調査箇所の位置を確認しました。

④ 現地調査

調査員による徒歩調査を基本とし、歩道状況の評価は交差点街区（交差点巻き込みごと）を1単位区間としました。

(2) 評価方法と要補修判定基準

① 評価方法

調査結果の評価方法は、次に示す3つのランクとしました。

- 「大」：歩行や通行に問題がある(転倒など)と評価した箇所
- 「小」：根上がり等あるが、歩行や通行には問題がないと評価した箇所
- 「無」：問題がないと評価した箇所

以下の図3-2-4-2に、根上がり判定例を示します。



図3-2-4-2 根上がり判定例 (左：小、右：無)

3-2-3

インフラの整備状況(歩道・植樹ます)

② 要補修判定基準

歩道や植樹ますにおいて、補修を必要とする判定基準を、表 3-2-4-2 と表 3-2-4-3 整理しました。

表 3-2-4-2 歩道舗装の要補修判定基準

歩道舗装劣化の程度	劣化判定	備 考
劣化箇所(段差、穴)を跨ぐ程度	大	舗装材の流出や穴がある。
歩行に支障がない程度 (成人がつまずかない程度)	小	足の大きさ程度(30cm 程度)以下のひび割れを許容する。
ベビーカーなどの手押し車や杖利用の歩行に支障がない程度	なし	沿道からの流出土堆積や縁石の擦り減り、破損は判定に影響しない。

表 3-2-4-3 植樹柵の要補修判定基準

植樹柵劣化の程度	劣化判定	備 考
植樹柵(植樹帯)原型が認められない	大	
植樹柵(植樹帯)の縁石やグレーチングがゆがんでいる	小	
街路樹による破損が認められない	なし	

(3) 歩道舗装・植樹ます調査結果

歩道・植樹ますは、現地調査により現状を段階評価しました。

【歩道・植樹ますの整備状況】

- 歩道の劣化は若干進んでおります。また、前回調査で劣化していると判定された区間は前回同様の結果でした。ただし、それらの区間は幹線道路と比較して交通量の低い一般市道が大半です。
- 植樹ますの劣化の多くは、街路樹が成長したことによる根上がりが原因と考えられます。特に街路樹がサクラの箇所では根上がりが目立ちました。

① 歩道舗装調査結果

歩道舗装の劣化状況調査結果を、表 3-2-4-4 に示します。

表 3-2-4-4 歩道劣化状況の調査結果

劣化判定	単位	平成 28 年度				前回調査（平成 23 年度）		
		区関数	延長 (m)	面積 (㎡)	摘要	区関数	延長 (m)	面積 (㎡)
「大」	区間	8	1,063	2,643	1-307、2-119、4-342、4-384、6-265、6-322、すずかけ通り、多摩川通り	5	545	1,397
「小」	区間	151	23,190	57,464	a : 116、Co : 37、I : 37 ※	93	11,835	32,142
「なし」	区間	1,764	149,249	418,203		1,757	158,624	439,167
合計		1,923	173,502	478,310		1,855	171,005	472,707

※ a=アスファルトコンクリート舗装、Co=セメントコンクリート舗装、I=インターロッキング舗装

② 植樹ます調査結果

植樹ますの状況調査結果を、表 3-2-4-5 に示します。

表 3-2-4-5 植樹樹劣化状況の調査結果

劣化判定	単位	平成 28 年度				前回調査（平成 23 年度）		
		区関数	劣化箇所数	グレーチング材質 (区関数)	摘要	区関数	劣化箇所数	グレーチング材質 (区関数)
「大」	区間	10	17	鉄 : 4 なし : 3	1-96、1-307、1-355、2-234、6-265、6-351、「桜通り」2 箇所、「多摩川通り」5 箇所、「中央道側道」、「多磨霊園南参道」3 箇所	7	7	鉄 : 2 なし : 5
「小」	区間	151	124	P : 2※ 鉄 : 23 なし : 52		65	112	P : 2※ 鉄 : 17 なし : 46
「なし」	区間	1,764	----	P : 47※ 鉄 : 212 なし : 1,570		1,783	----	P : 47※ 鉄 : 212 なし : 1,524
合計		1,923	141	P : 49※ 鉄 : 239 なし : 1,635		1,855	119	P : 49※ 鉄 : 231 なし : 1,575

※ P=コンクリート盤

(4) 補修対策箇所

劣化判定が「大」と「小」の区間の結果を補修対策箇所とし、それぞれ図 3-2-4-3、図 3-2-4-4 に街区箇所を示します。あわせて、図 3-2-4-5、図 3-2-4-6 に劣化していると判定した箇所の調査写真を示します。

3-2-3

インフラの整備状況（歩道・植樹ます）

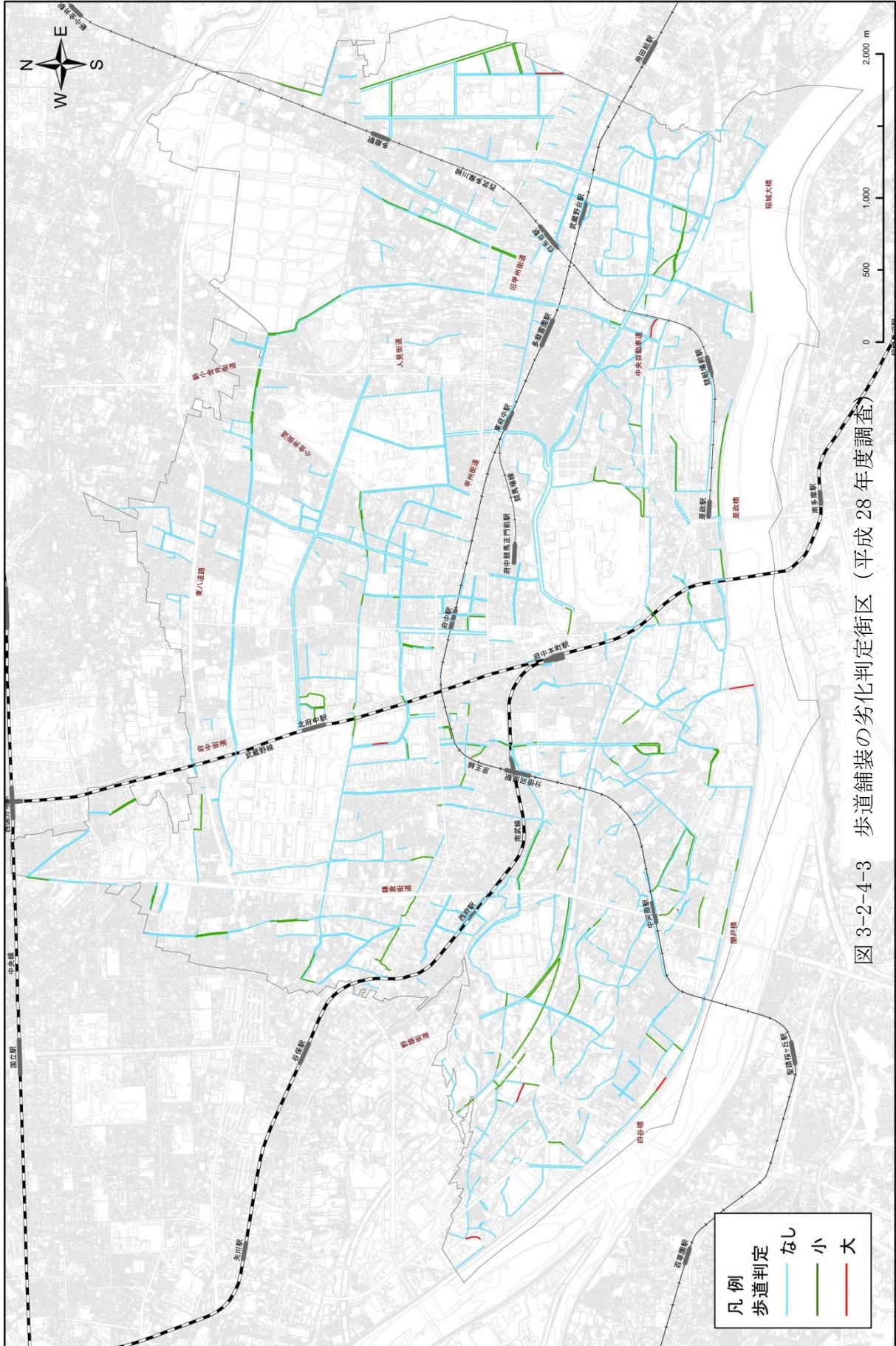


図 3-2-4-3 歩道舗装の劣化判定街区（平成 28 年度調査）

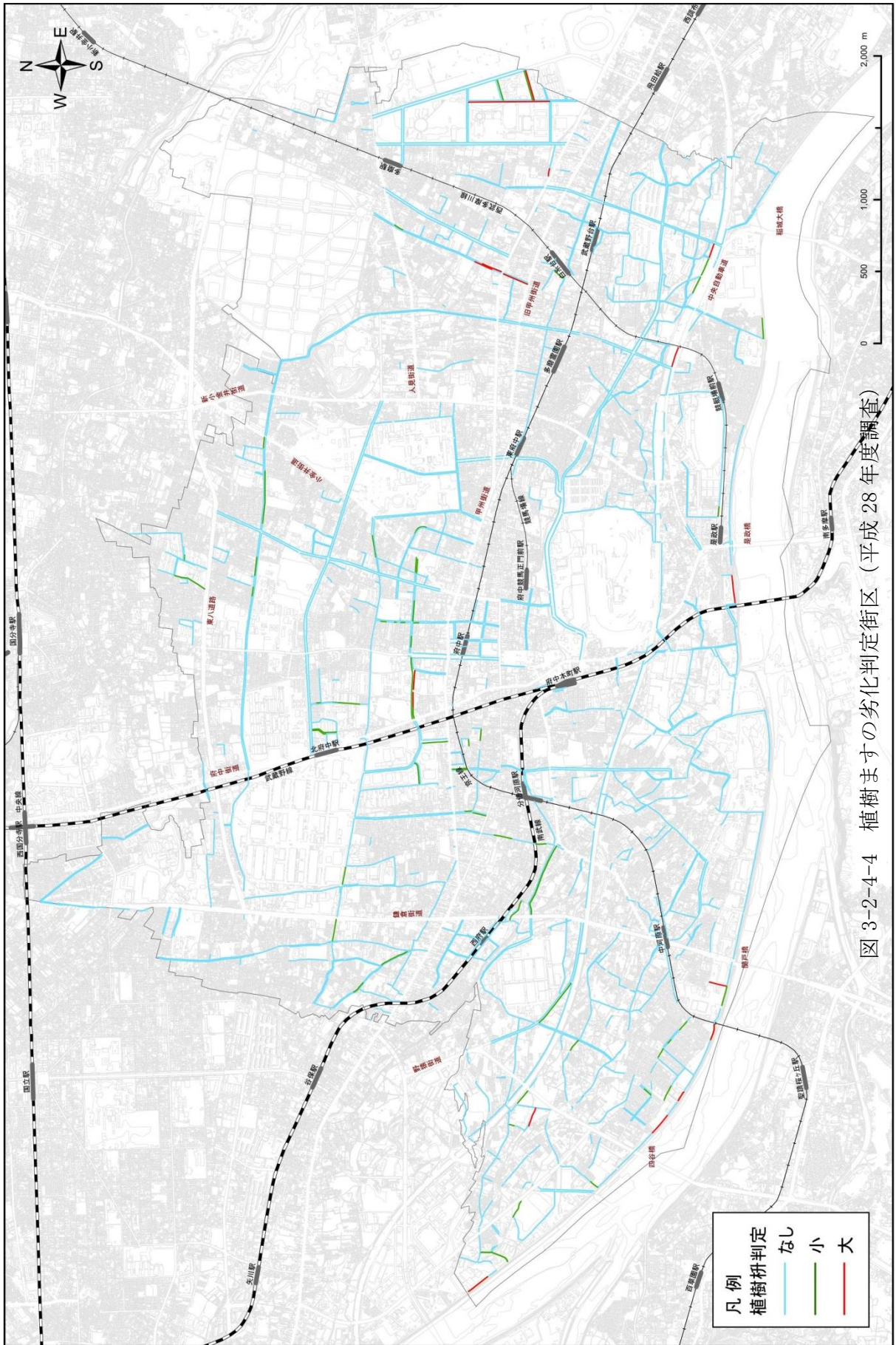


図 3-2-4-4 植樹ますの劣化判定街区（平成 28 年度調査）

3-2-3

インフラの整備状況（歩道・植樹ます）

3-2-3

インフラの整備状況（歩道・植樹ます）

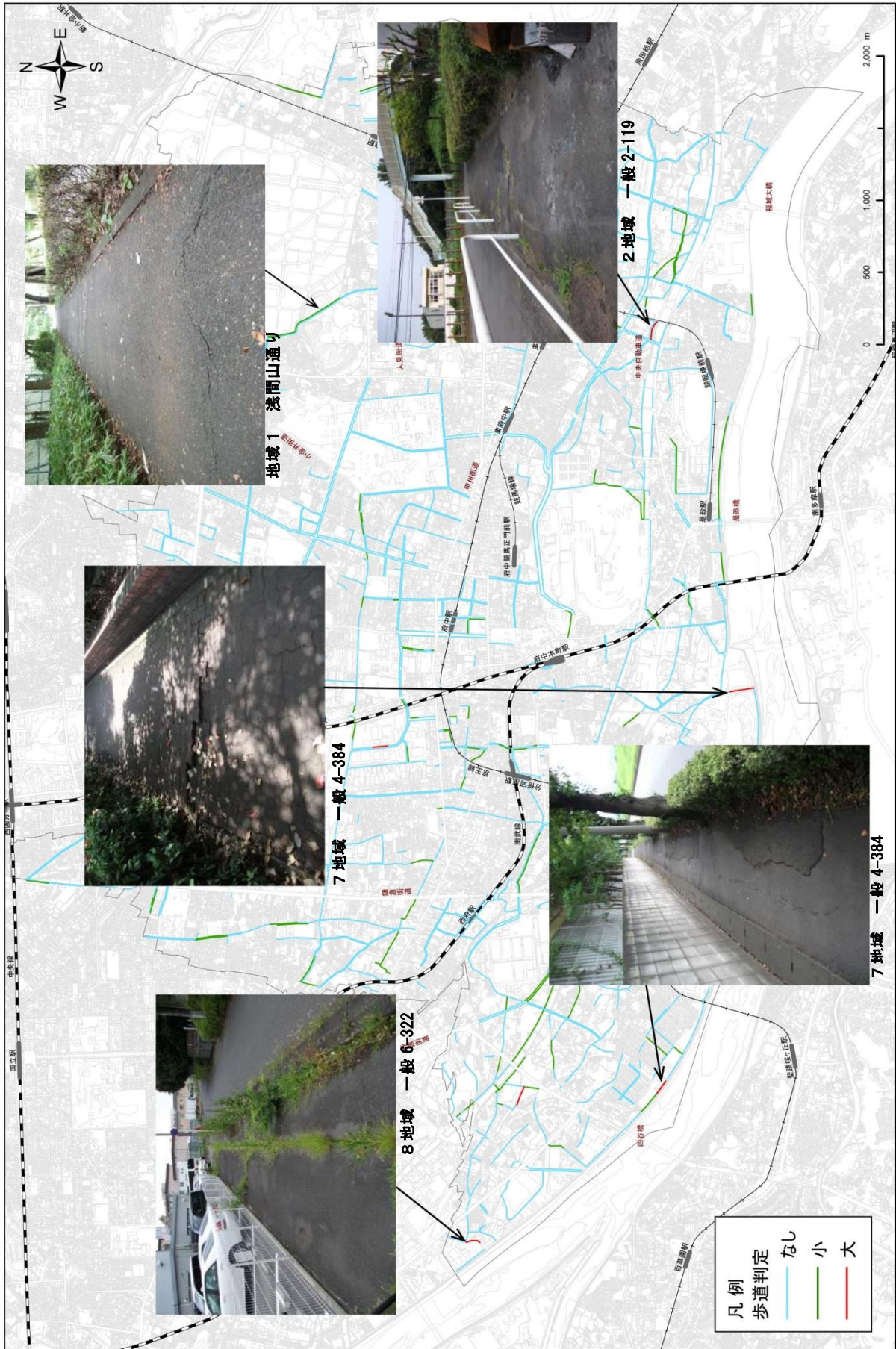


図 3-2-4-5 歩道舗装の劣化箇所（平成 28 年度調査）



図 3-2-4-6 植樹ますの劣化箇所 (平成 28 年度調査)

インフラの整備状況) 歩道・植樹ます)

3.2.5. 案内標識

案内標識は、現地調査により箇所および現状を確認しました。

3.2.5.1. 全体数量

案内標識は、「府中市サイン基本計画」（平成2年11月）のデザインに従って設置された標識が401基と、それ以前のデザインの標識が138基あります。また、そのほかに個別に設置した施設案内標識が264基あります。

表 3-2-5-1 案内標識の内訳

案内標識の分類	基数（基）	全体に対する割合（%）	備考
新型案内標識	401	49.94%	府中市サイン基本計画（H2.11策定）に準拠
旧型案内標識	138	17.19%	サイン基本計画以前のデザイン
その他案内標識	264	32.87%	上記に含まれないデザイン
合計	803	100%	

3-2-6

インフラの整備状況（案内標識）



図 3-2-5-1 案内標識の例（新型）



図 3-2-5-2 案内標識の例（旧型：道路名称）



図 3-2-5-3 案内標識の例（旧型：施設名称）

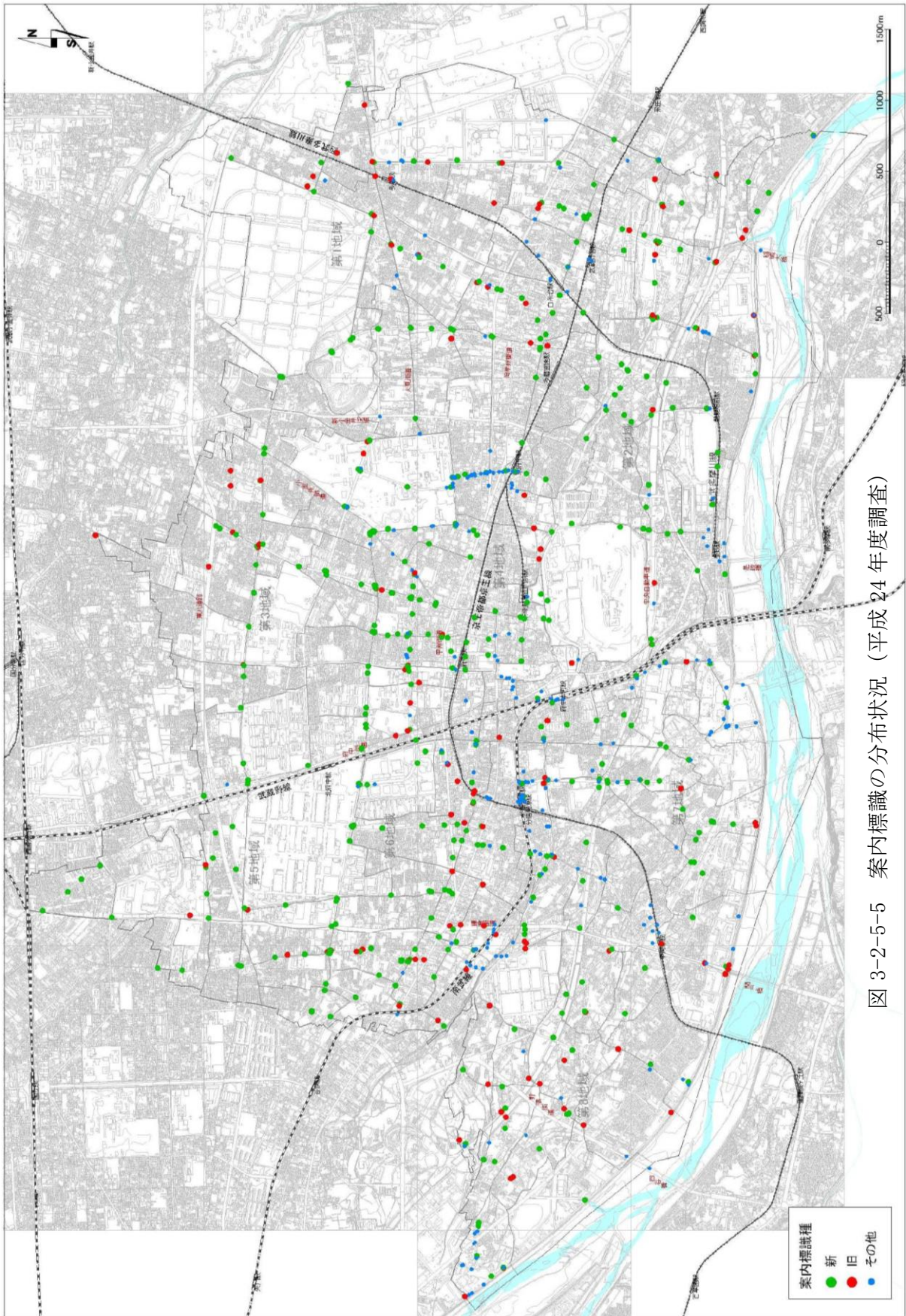


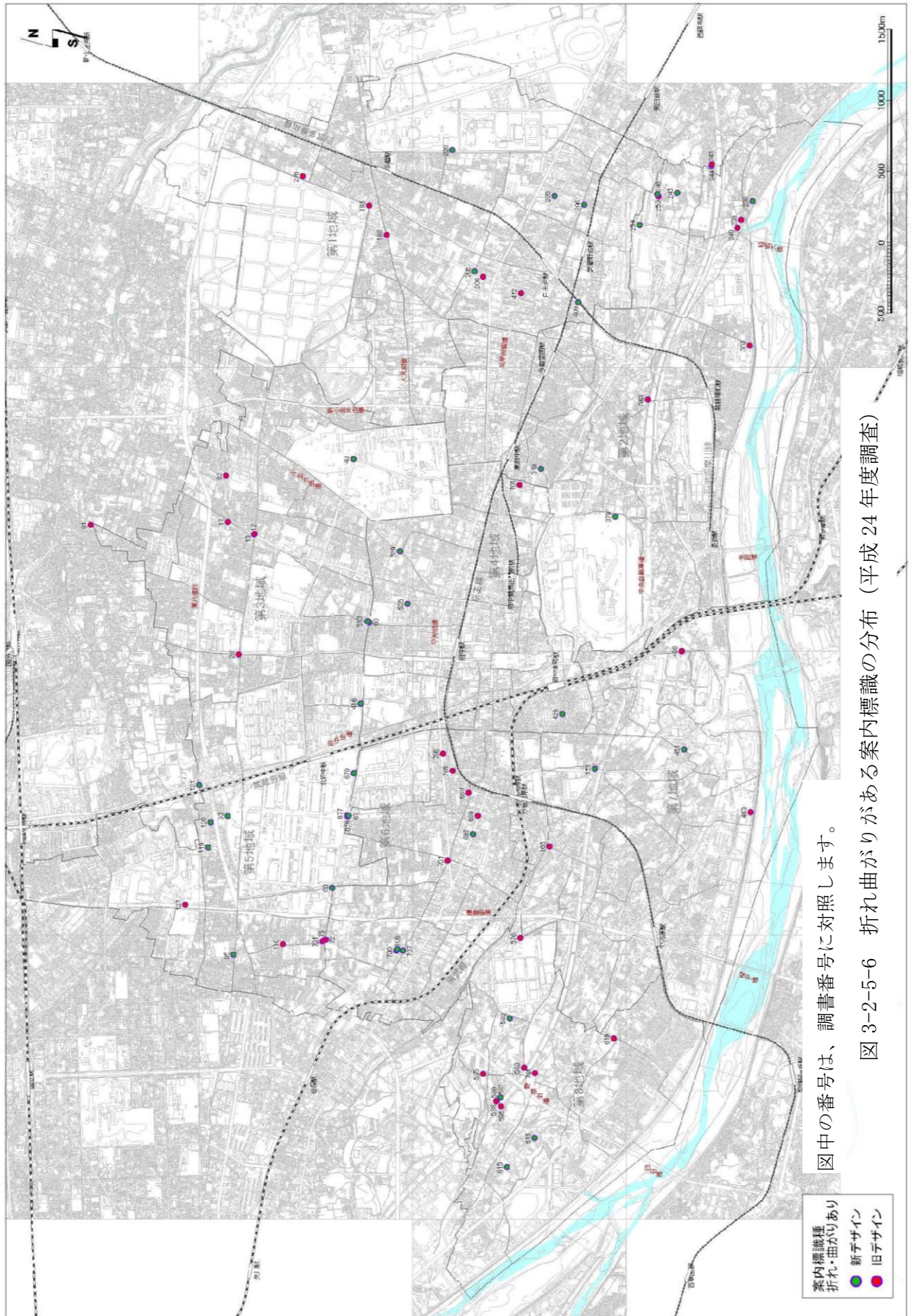
図 3-2-5-4 案内標識の例（その他）

3.2.5.2. 案内標識位置

3-2-6

インフラの整備状況（案内標識）





図中の番号は、調査番号に对照します。

図 3-2-5-6 折れ曲がりがある案内標識の分布（平成 24 年度調査）

3.2.5.3. 案内標識の整備状況

- 「府中市サイン基本計画（平成 2 年 11 月）」のサイン計画に従って設置された案内標識と旧型案内標識が混在している状況です。
- 78 基程度に、看板折れや曲がり等の看板破損があります。（支柱の破損はありません。）
- 色あせ等により、表示が見にくくなっている標識は 63 基あります。

3.2.5.4. 地域別集計

各地域とも、10 基～30 基程度の旧型案内標識があります。また、損傷のうち「折れ・曲がり」の看板破損がある案内標識は地域ごとに 10 基程度ずつあります。

表 3-2-5-2 地域ごとの案内標識基数

地域区分	全案内標識（基）			うち、折れ・曲がりがある標識（基）		
	新型案内標識	旧型案内標識	その他	新型案内標識	旧型案内標識	その他
第 1 地域	53	19	28	5	5	0
第 2 地域	68	24	52	7	6	0
第 3 地域	48	13	8	4	6	0
第 4 地域	63	13	39	4	1	0
第 5 地域	22	4	0	9	4	0
第 6 地域	74	31	61	4	6	0
第 7 地域	50	15	50	2	3	0
第 8 地域	23	19	26	4	8	0
全 体	401	138	264	39	39	0

3-2-6

インフラの整備状況（案内標識）

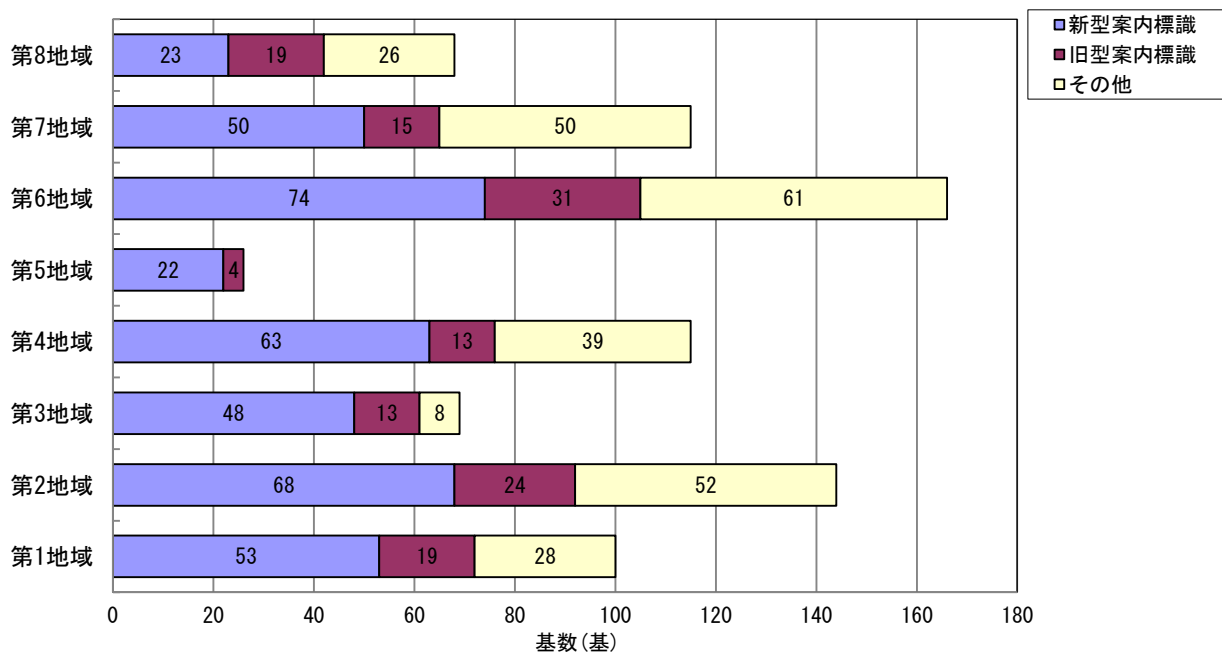


図 3-2-5-7 地域ごとの案内標識数

3-2-6

インフラの整備状況（案内標識）

3.2.6. 警戒標識・その他標識

警戒標識・その他標識は、標識台帳を確認しました。

3.2.6.1. 全体数量

警戒標識・その他標識は、市が所有している標識台帳内に記録されています。その他標識とは、制限標識、遊歩道案内板、安眠標識、路面凍結注意標識、すべり止め用砂案内標識です。

表 3-2-6-1 警戒標識・その他標識基数

分類		基数 (基)	全体に対する割合 (%)	備考
警戒標識	警戒標識	283	69.88%	
その他標識	制限標識	37	9.14%	
	遊歩道案内板	19	4.69%	
	安眠標識	10	2.47%	
	路面凍結注意標識	40	9.88%	
	すべり止め用砂案内標識	16	3.95%	
合計		405	100%	



図 3-2-6-1 警戒標識の例



図 3-2-6-2 制限標識の例



図 3-2-6-3 遊歩道案内板の例



図 3-2-6-4 安眠標識の例

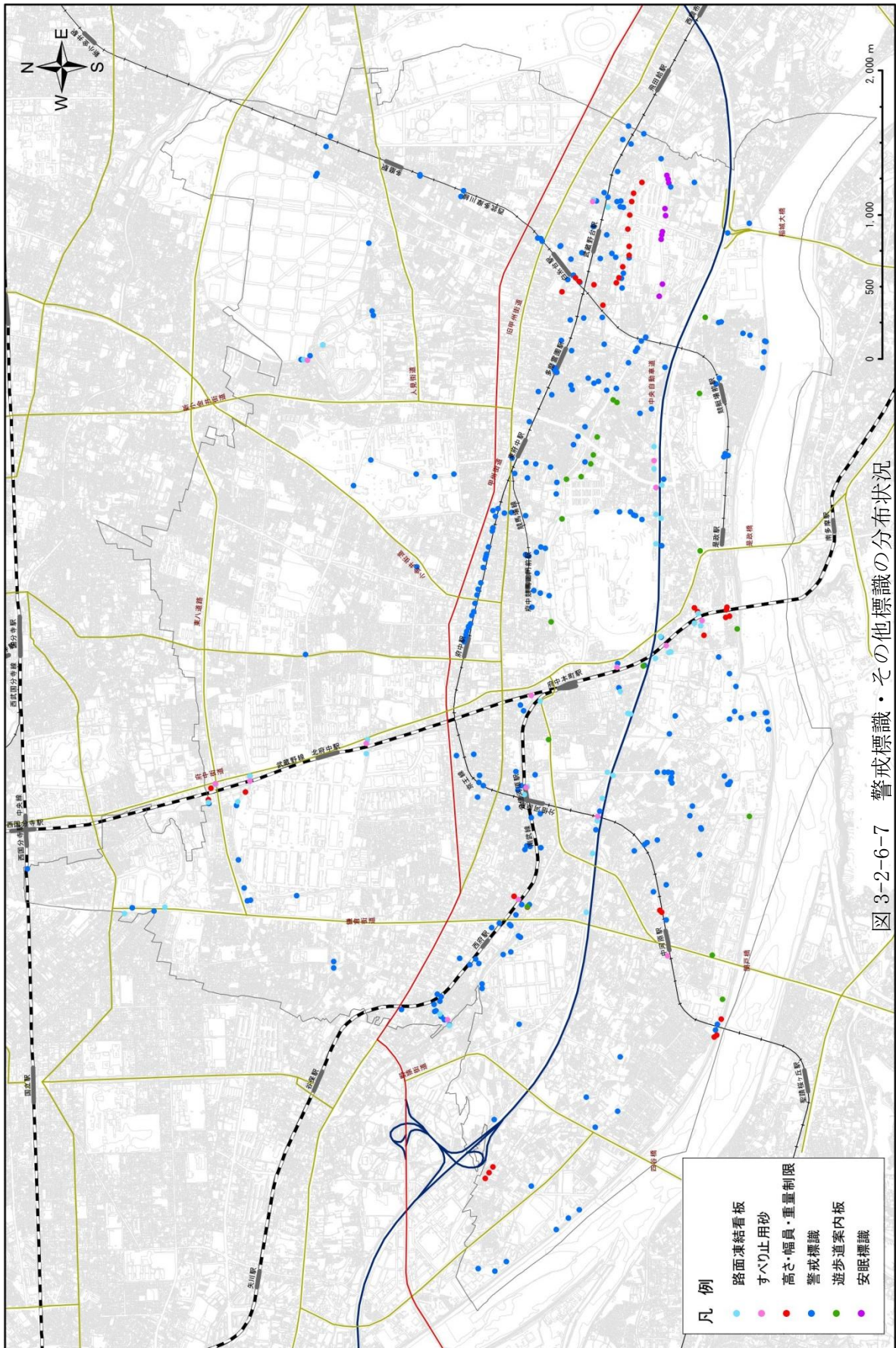


図 3-2-6-5 路面凍結注意標識の例



図 3-2-6-6 すべり止め用砂案内の例

3.2.6.2. 警戒標識・その他標識位置



3.2.6.3. 警戒標識・その他標識の整備状況

- 府中市標識台帳に記載されている警戒標識及びその他標識については、最も古い設置年が1975年です。最新設置年は1994年となっており、その後台帳の更新は実施されていません。

3.2.6.4. 地域別集計

警戒標識は、各地域に設置されています。また、路面凍結看板やすべり止め用砂案内は、鉄道を交差する路線に設置されています。地域別には、第2地域が101基、第7地域が79基と、市の南側の地域に多く設置されています。

表 3-2-6-2 地域ごとの案内標識基数

警戒標識・その他標識（基）						
地域区分	警戒標識	制限標識	遊歩道案内板	安眠標識	路面凍結看板	すべり止め用砂案内
第1地域	48	15	0	0	4	1
第2地域	67	3	11	10	8	2
第3地域	8	2	0	0	2	4
第4地域	41	0	1	0	3	1
第5地域	12	2	0	0	5	0
第6地域	41	1	2	0	4	3
第7地域	46	9	5	0	14	5
第8地域	20	5	0	0	0	0
全体	283	37	19	10	40	16